

洗面化粧台・収納キャビネット



- ◆このたびは、TOTO商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ◆保証書に取付店名、お引き渡し日などが記入されていることを必ずお確かめください。
- ◆この取扱説明書は、大切に保管し、必要なときにお読みください。
- ◆水栓金具・電気温水器に関する内容は、専用の説明書にのせておりますので、この説明書と併せてよくお読みください。

はじめに

安全上のご注意	1・2
使用上のご注意	3・4
各部のなまえ	5・6
ご使用前の確認	6

使いかた

排水栓の開閉	6
パックンポケット	7
ストックポケット	7
扉の開閉	8

お手入れ

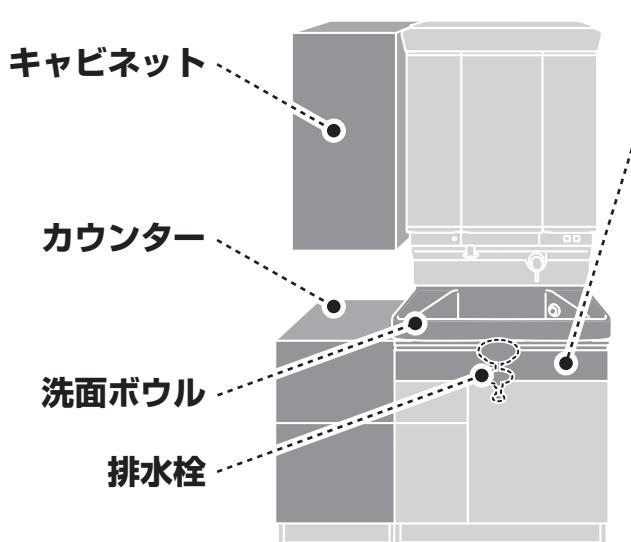
おそうじ道具と洗剤	8
各部のお手入れ	9～11
扉の調整	12・13
引き出しの調整	14・15
スライドラックの調整	16

こんなときは

凍結予防	17
定期的な点検	18
修理を依頼される前に	19
アフターサービス	19・20
部品の交換のご案内	20
仕様	21
(ホルムアルデヒドについて)	
保証書	22

使用上のご注意

使用するときは、以下のことをお気を付けてください



パックンポケット

パックンポケット部にぶら下がらない
破損の原因になります。

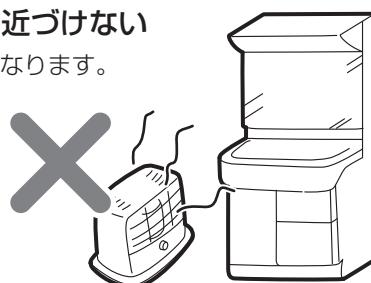


ストックポケット部にぶら下がらない
破損の原因になります。



洗面ボウル・カウンター・キャビネット

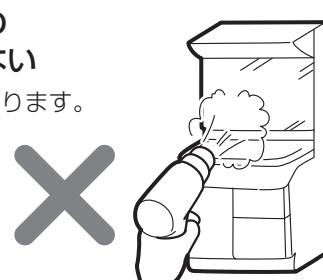
ストーブなどを近づけない
変形・変色の原因になります。



直射日光にさらされる場合は、
必ずカーテンなどで遮る
変色の原因になります。



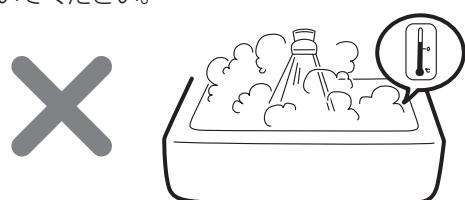
ヘアドライヤーの
熱風を直接当てない
変形・変色の原因になります。



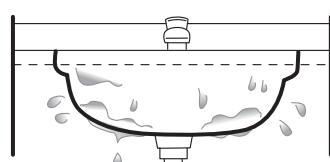
樹脂部を傷つける洗剤および
溶剤類は絶対に使用しない
水漏れや変色・破損の原因になります。



冷たい洗面ボウルに、急に熱湯を注がない
洗面ボウルの破損の原因になります。水を少しためで
から注いでください。



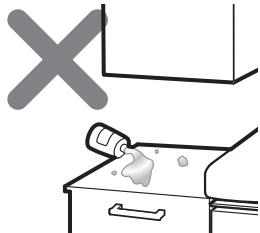
洗面ボウルに冷水をためると、環境条件や
時間によっては結露することがあります
ぬるま湯をお使いいただくと防止できます。



洗面ボウル・カウンター・キャビネット

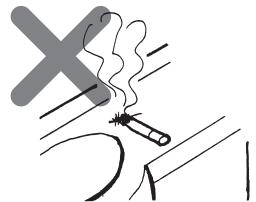
カウンターに毛染め剤、養毛剤、パーマ液、うがい薬などの強い薬液をこぼさない

そのまま放置しておきますと表面が変色するがありますので、すぐに洗い流してください。



洗面ボウル・カウンターの上に火のついたタバコを置かない

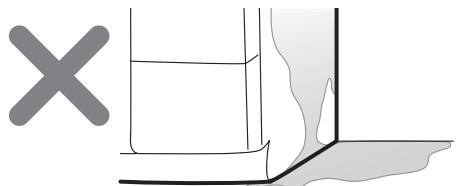
変色する原因になります。



キャビネットの下に水などをこぼさない

こぼしたときは、すぐにふき取ってください。

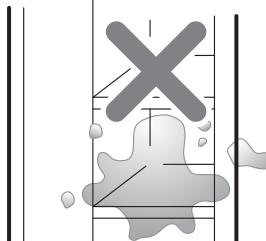
木質でできていますので表面材のはがれや木部変形の原因になります。



キャビネットに水がかかった場合は、そのまま放置しない

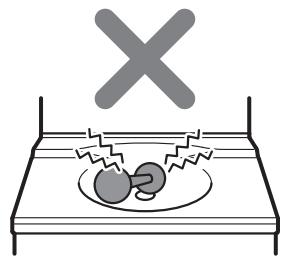
水がかかった場合は、すぐにふき取ってください。

木質でできていますので表面材のはがれや木部変形の原因になります。



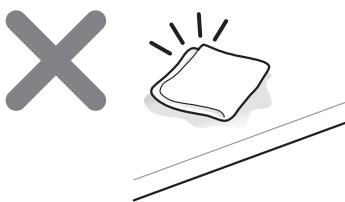
排水栓の上に重い物をのせない

故障の原因になります。



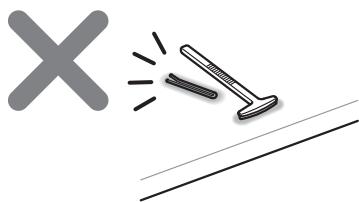
カウンターの上にぬれた物を放置しない

水分が長期に残り、膨れや変色の原因になります。



洗面ボウル・カウンターにヘアピン、かみそりの刃などを放置しない

さびが取れなくなる場合があります。



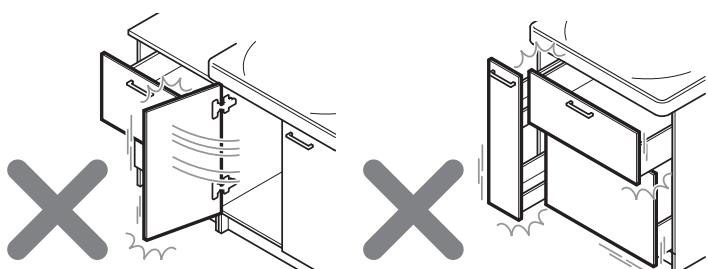
キャビネット内では塩素系の薬品・洗剤類の保管に注意する

塩素ガスが発生すると、丁番・レールのさびや動作不良の原因になります。

塩素系の薬品・洗剤類を収納する場合は、キャップを確実に閉めてください。キャビネットや容器に付着した場合は、すぐにふき取ってください。

※オプション

引き出しを開けるときは、隣接する引き出しを閉めてから開ける扉と扉がぶつかり、傷や破損の原因になります。



タオルバーにぶら下がらない

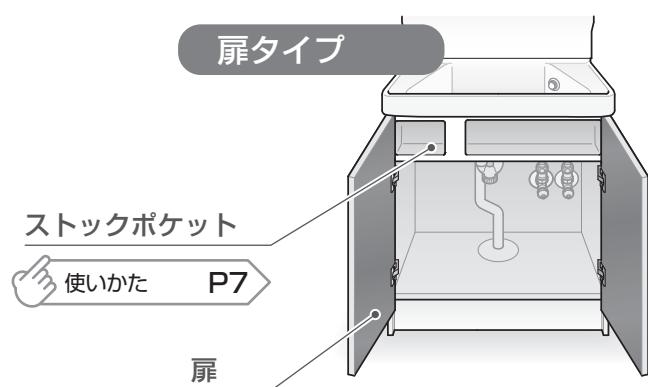
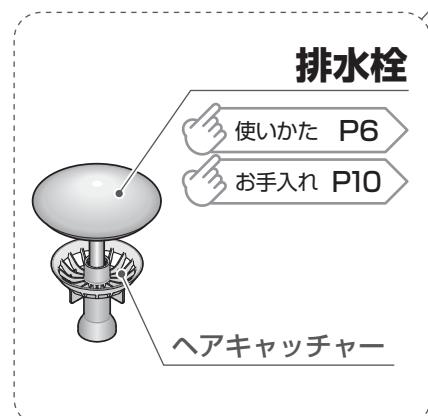
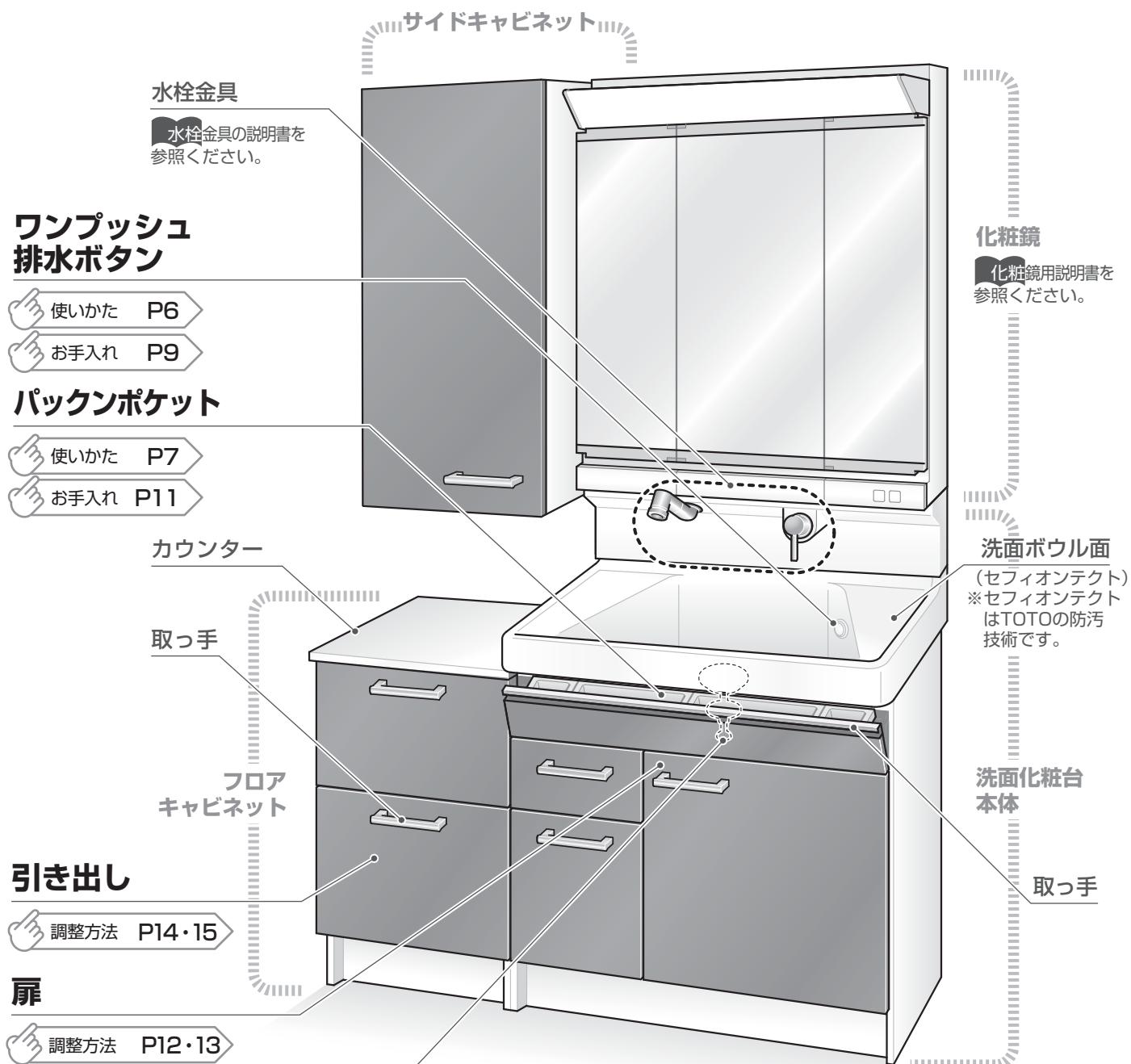
破損の原因になります。



各部のなまえ

サイドキャビネット・フロアキャビネット・パックンポケット付き片引き出しタイプ

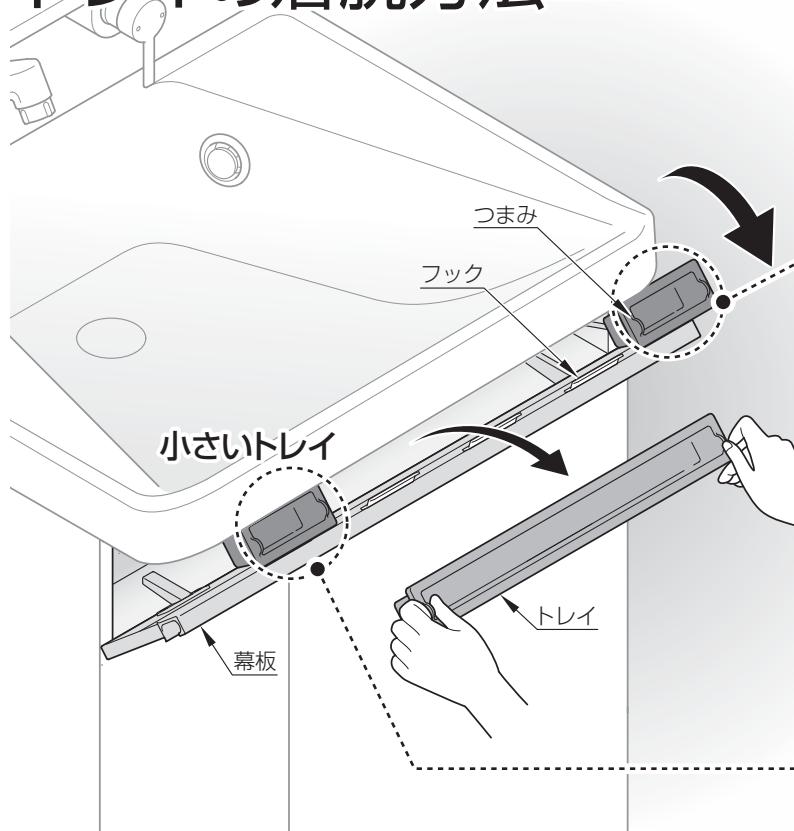
※本図は代表として上記タイプを示します。



パックンポケット

パックンポケット付き片引き出しタイプ

トレイの着脱方法



取り外し

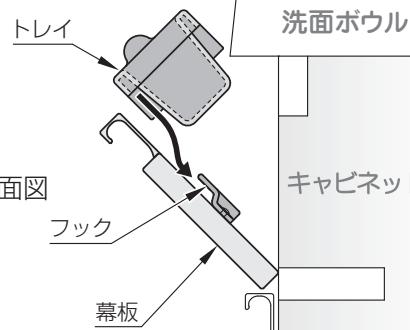
つまみを持って取り外す

必ず両手でつまみを持つ

トレイの中身を落とさないようにするため

取り付け

トレイをフックに引っ掛ける

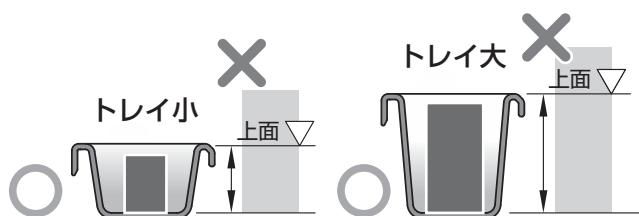


必ず両端が小さいトレイになる
ようにセットする

トレイ収納物の高さ制限

上面より出ない物を入れてください

耐荷重 1kg

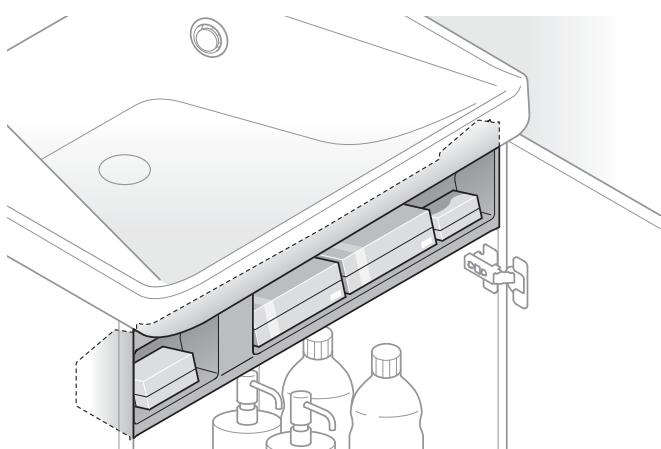


ストックポケット

扉タイプ

片引き出しタイプ

3Wayキャビネットタイプ



耐荷重をお守りください

耐荷重 2kg

各部のお手入れ

水栓金具・化粧鏡・電気温水器の
お手入れ 専用説明書を参考ください。

日ごろの お手入れポイント

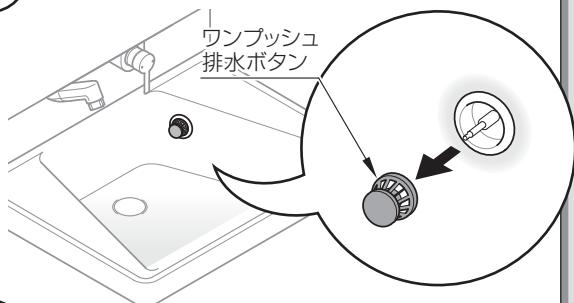
いつまでも美しさを保つために、
日ごろからこまめにお手入れをしてください



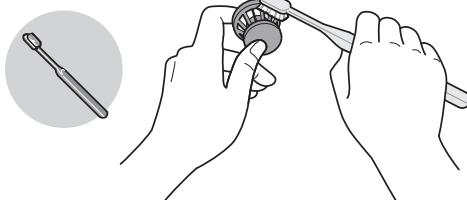
水で洗い流し、 からぶき

ワンプッシュ排水ボタン

1 ワンプッシュ排水ボタンを取り外す



2 歯ブラシで汚れを取り除く



3 ワンプッシュ排水ボタンを取り付ける

「カチッ」と音がするまで、奥に差し込む

※詰まると流れが悪くなります。

排水トラップ

日ごろのお手入れ

排水管洗浄剤(詰まり予防用)にて
お手入れする



洗剤の説明書を参考ください。

水の流れが悪い場合

排水管洗浄剤(詰まり除去用)にて
お手入れする



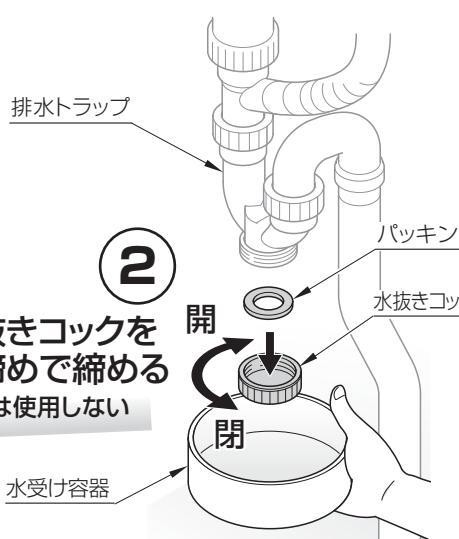
洗剤の説明書を参考ください。

配管が詰まった場合

1 水抜きコックを開け 異物やごみを取り除く

水が溜まっているので、水受け容器を置く

※約130ml出ます。



3 水を通し、水漏れがないか確認

排水栓

異物の詰まりを確認し、定期的にお手入れする



2 排水栓を取り外す

3 ヘアキャッチャーを取り外す

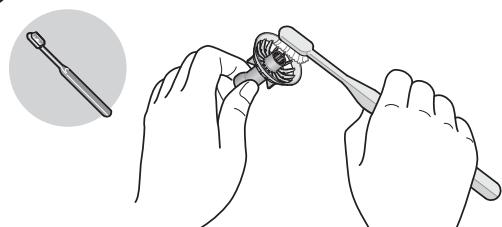
ヘアキャッチャー

4 ヘアキャッチャーのごみを捨てる



乾燥している場合は、一度水で濡らす

5 歯ブラシで汚れを取り除く



*ごみが詰まると流れが悪くなります。

洗面ボウル

日ごろのお手入れ

台所用中性洗剤で洗う



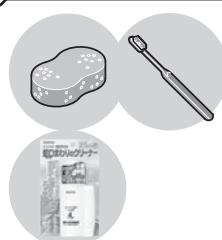
最後に水ぶき+からぶき



頑固な汚れ

1 お湯をかけてあたためる (もらいさびの場合)

2 スポンジか歯ブラシに蛇口まわりのクリーナーを付けて傷つけないように洗う



傷つける場合があるので目立たない所で試す

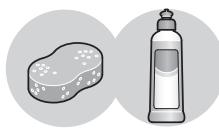
最後に水洗い+からぶき



カウンター

日ごろのお手入れ

台所用中性洗剤で洗う

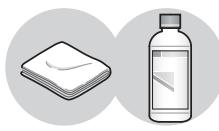


最後に水ぶき+からぶき



頑固な汚れ

布にエチルアルコールを付けてふく



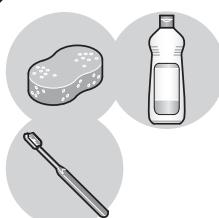
表面に傷が付くため、粗目のスポンジ(ナイロンたわしなど)は使わない



さらにひどい汚れ

1 お湯をかけてあたためる
(もらいさびの場合)

2 スポンジか歯ブラシにクリーム
クレンザーを付けて洗う



最後に水ぶき+からぶき



素材自体の腐食ではない「もらいさび」

ヘアピンなど金属製品の放置によるもらいさびです。お湯をかけて温めておくと落としやすくなります。



キャビネット・化粧棚

※セットの場合のみ

1 布に台所用中性洗剤を付けてふく



2 細かい部分は、割り箸で



最後に水ぶき+からぶき



パックンポケット

※セットの場合のみ

1 布に台所用中性洗剤を付けてふく



2 トレイを水洗い、もしくは水ぶき



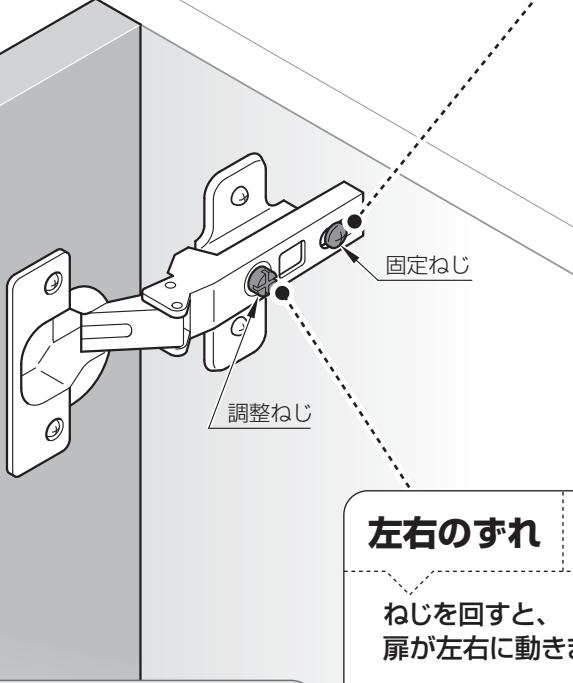
静電気による「黒い汚れ」も水ぶきする

最後にからぶき

扉の調整

扉のずれを直すときは

洗面化粧台の場合



調整後、固定ねじを
しっかりと締め付けて、
ゆるみがないことを確認する
扉が落下してけがをするおそれがあります。

前後のずれ

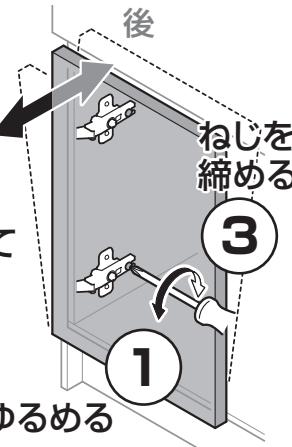
固定ねじをゆるめて調整

ねじを回すと、
扉が前後に動きます。

2

扉を動かして
調整

ねじをゆるめる



左右のずれ

調整ねじを回して調整

ねじを回すと、
扉が左右に動きます。

右回し
(内側へ)

左回し
(外側へ)

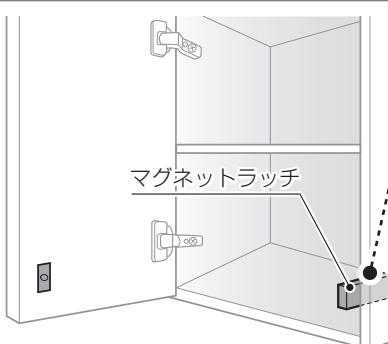
外側

内側

右回し

左回し

収納キャビネットの場合



前後のずれ

マグネットラッチを回して調整

扉が開かない場合は、
左へ回してください。

左

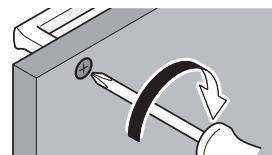
前へ出る

後ろへ
引っ込む

右

取っ手のがたつきを直すときは

固定ねじを右に回して締め付けてください。



扉が落下しないように注意して行い、調整後は必ずねじを
締め付ける

締め付けていない場合は、扉や取っ手が外れて、けがをするおそれがあります。



電動ドライバー
禁止

お手入れ

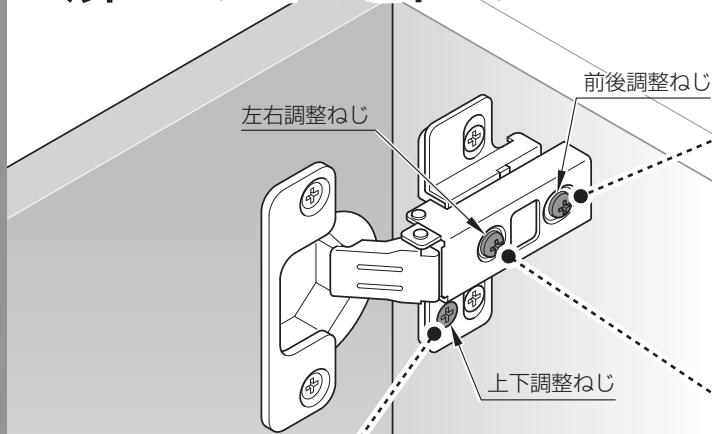
扉の調整

12

扉の調整

洗面化粧台以外の場合

扉のずれを直すときは



前後のずれ

前後調整ねじで調整

前
②

扉を動かして
調整

ねじをゆるめる

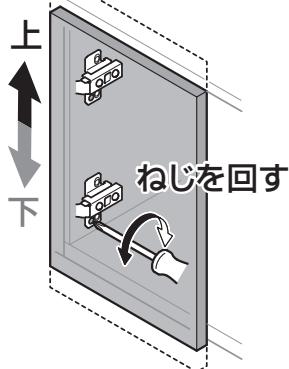
①

ねじを締める
③

上下のずれ

上下調整ねじで調整

ねじを回すと、
扉が上下に動きます。



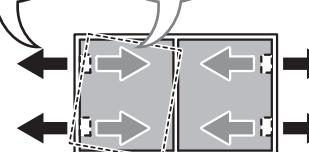
左右のずれ

左右調整ねじで調整

ねじを回すと、
扉が左右に動きます。

左回し
(外側へ)

右回し
(内側へ)



外側

内側



注意



必ず実行

調整後、前後調整ねじをしっかりと締め付けけてゆるみのないことを確認する
扉が落下してけがをするおそれがあります。

扉を外すときは

取り外し

本体の着脱レバーを押す

脱着レバー

① 押し込みながら

② 持ち上げる

取り付け

本体の爪部をはめ込む

爪部を
はめ込む

①

カチッ

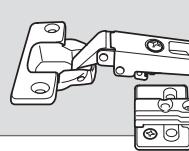
② 押し下げる



注意



本体がきちんと台座に装着されて
いるか確認する
必ず実行 開扉が外れて、けがをするおそれがあります。



本体
台座

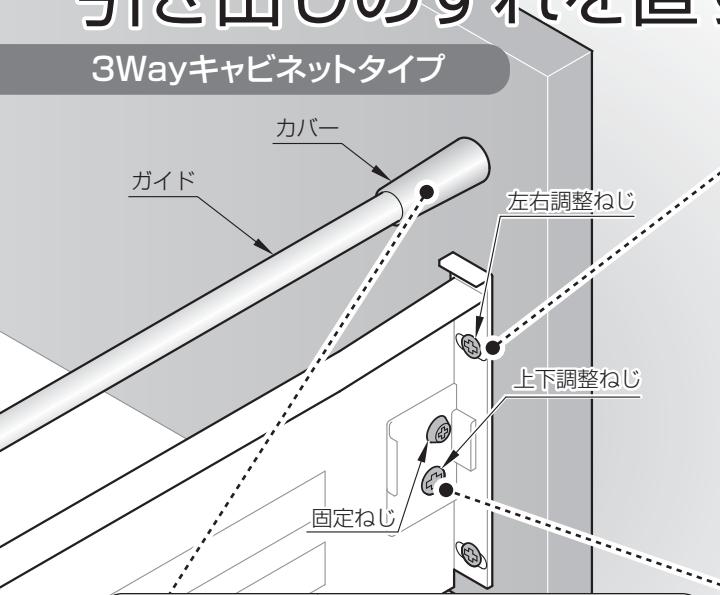


電動ドライバー
禁止

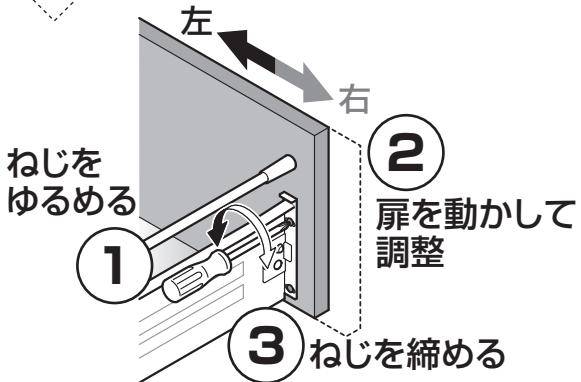
引き出しの調整

引き出しのずれを直すときは

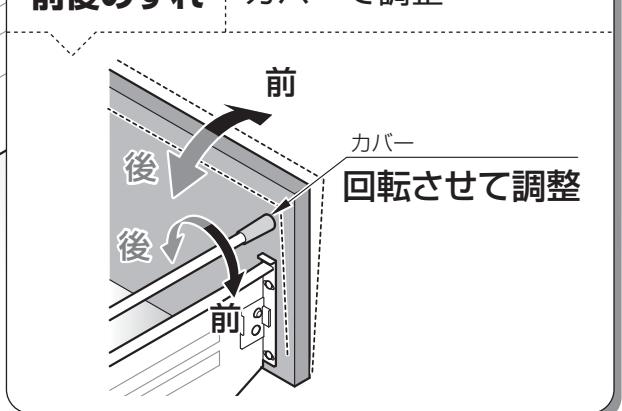
3Wayキャビネットタイプ



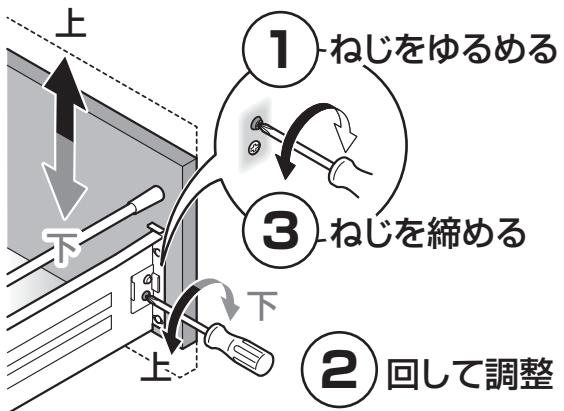
左右のずれ 左右調整ねじで調整



前後のずれ カバーで調整



上下のずれ 上下調整ねじで調整

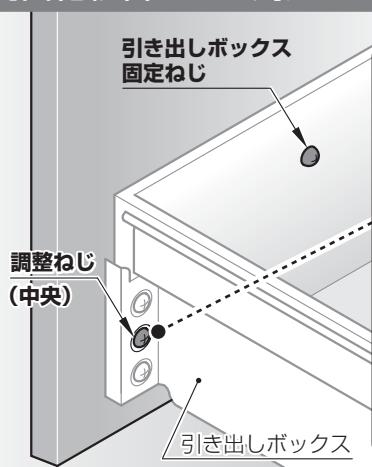


調整後は必ず、ねじを締め付ける
引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。

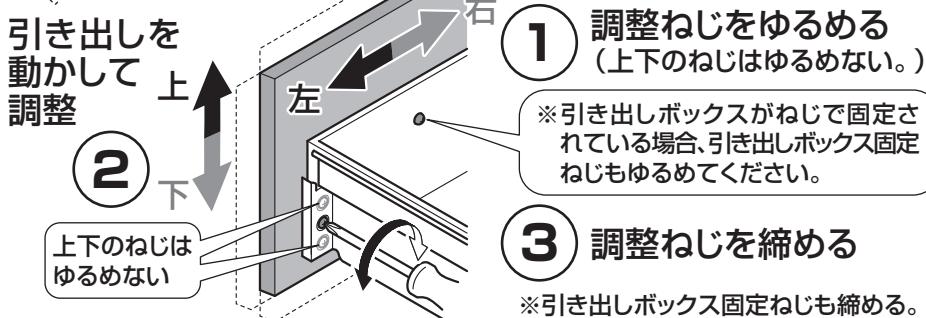


電動ドライバー禁止

洗面化粧台および周辺キャビネットの樹脂製引き出し ±2mm調整できます。



上下・左右のずれ 調整ねじ(左右2カ所)をゆるめて調整



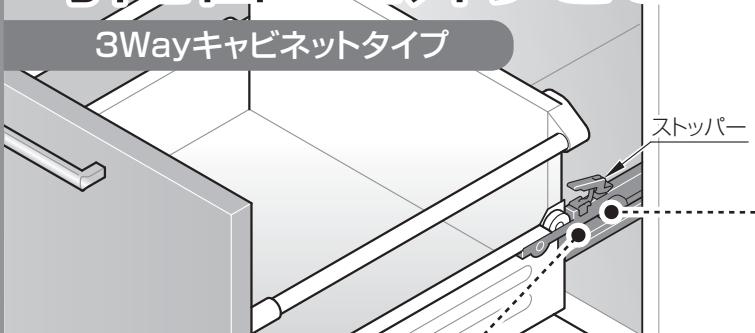
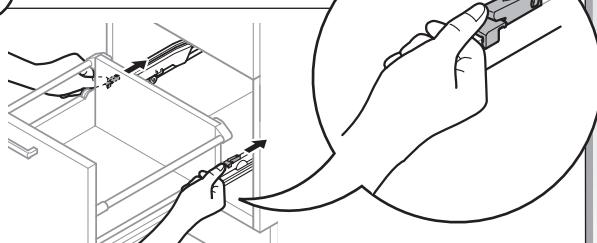
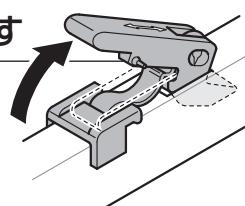
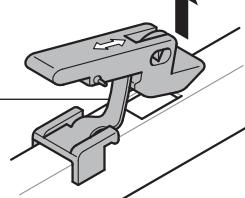
調整後は必ず、ゆるめたねじを全て締め付ける
引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。



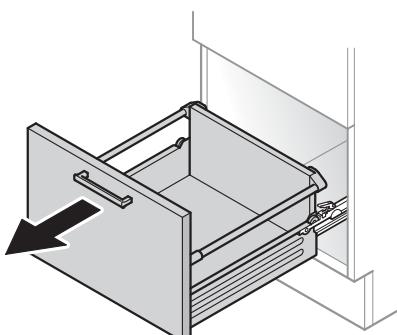
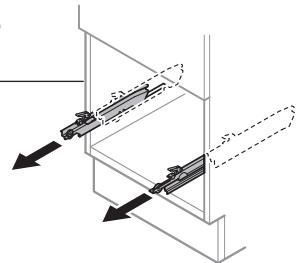
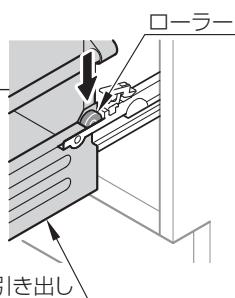
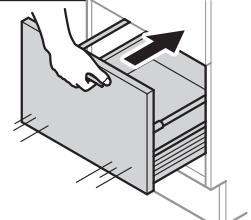
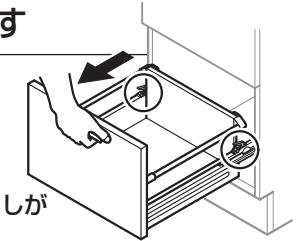
電動ドライバー禁止

引き出しを外すときは

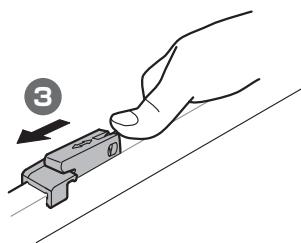
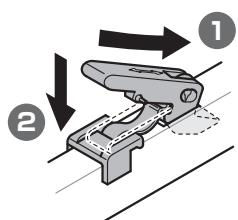
3Wayキャビネットタイプ

**取り外し****1** ストッパーを矢印の方向に押す**2** ストッパーを起こす**3** ストッパーを抜く

※ストッパーをねじったり強く引っ張ると、破損する原因になります。

4 引き出しをまっすぐ引き抜く**取り付け****1** レールを完全に引き出す**2** ローラーをレールにはめる**3** 引き出しを奥まで押す**4** 止まるまでゆっくり引き出す

※強く引き出すと、引き出しが外れる原因になります。

5 ストッパーを差し込み、矢印の方向に押して取り付ける

注意

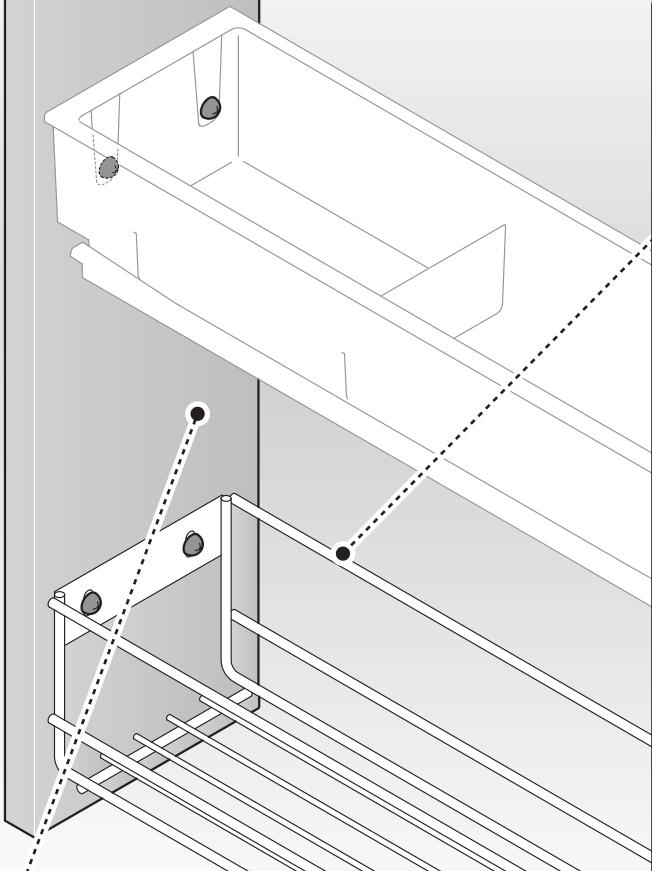


必ず実行

取り付け後は必ず2~3回引き出して正確に取り付けられているか確認する
使用中に引き出しが外れて、けがをするおそれがあります。

スライドラックの調整

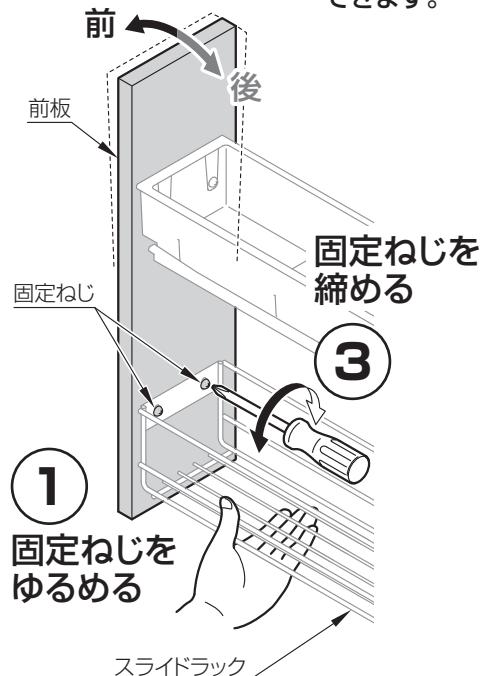
スライドラックのずれを直すときは



前後のずれ

スライドラックで調整

±2mm調整できます。



上下・左右のずれ

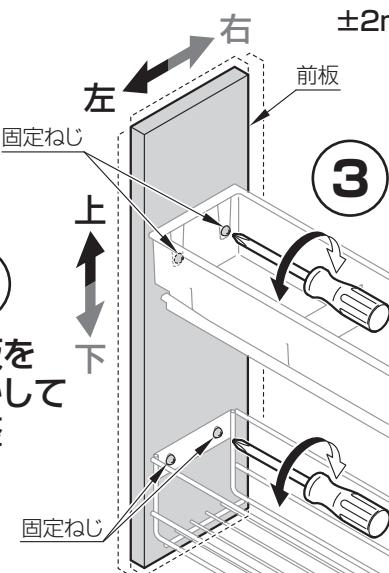
前板で調整

±2mm調整できます。

2

前板を動かして調整

3 固定ねじを締める



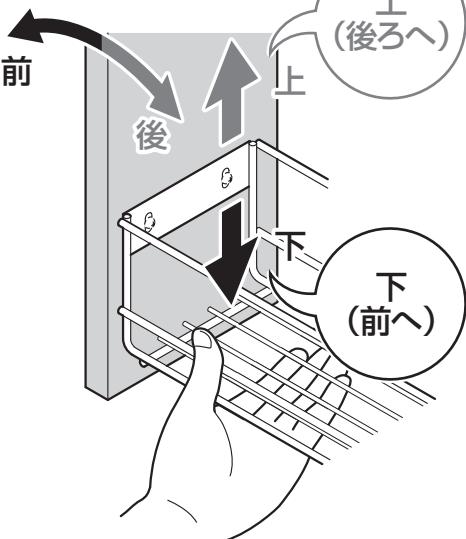
1 上下各2本の固定ねじをゆるめる

2 スライドラックを動かして調整

前

上(後ろへ)

下(前へ)



調整後は必ず、固定ねじを締め付ける
引き出し前板が落下してけがをするおそれがあります。



電動ドライバー禁止

禁止

お手入れ

スライドラックの調整

凍結予防

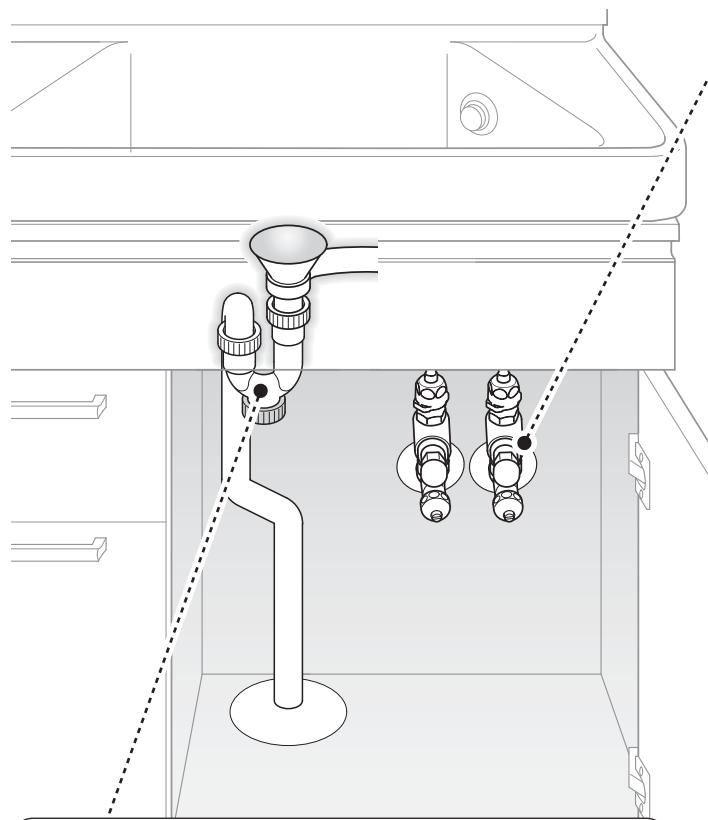
寒冷地仕様の場合

凍結のおそれがある場合は、別途凍結防止工事を行い、ご自宅に設置された水抜栓の操作と併せて、以下の処置をしてください。(凍結防止工事については、お求めの販売店または工事店にご相談ください。)

水抜きのときは

電気温水器の水抜き

専用説明書を参照ください。



排水トラップの水抜き

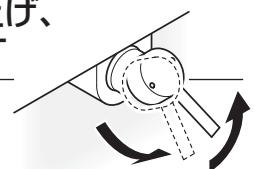


水栓金具の水抜き

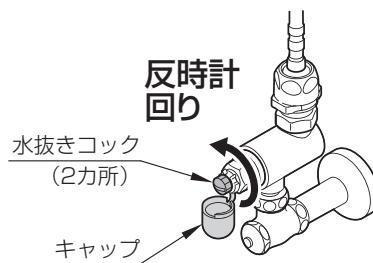
あらかじめ収納物を取り出す

- 1 配管部の止水栓で通水を止める

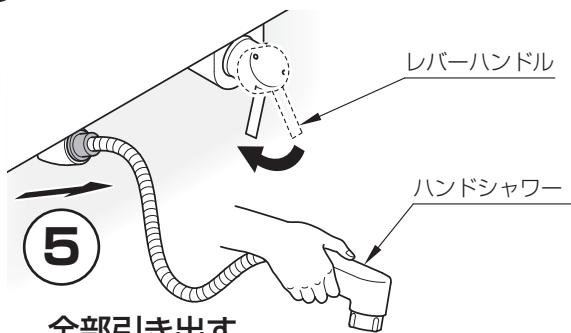
- 2 レバーハンドルを上げ、右側いっぱいに回す



- 3 水抜けコックを止まるまで回す



- 4 レバーハンドルを上げたまま、左側いっぱいに回す

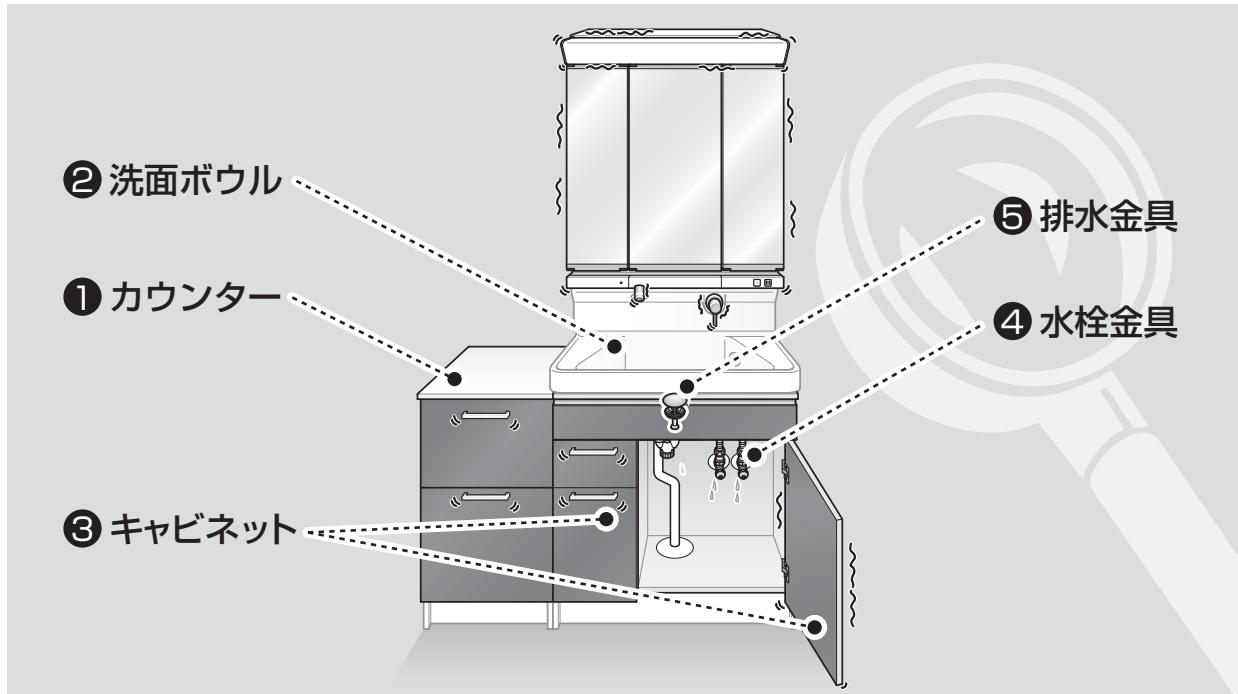


- 5 水を切り、洗面ボウルの底に置く



定期的な点検

商品の長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により、安全上支障が生じるおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、商品をより長く、安全・快適にお使いいただくために、お客様自身による以下の点検を毎月1回は実施いただきますようお願いします。
不具合があった場合は、TOTOメンテナンス(株)修理受付センター(フリーダイヤル ☎0120-1010-05)またはお求めの販売店へご連絡ください。



点検部位	点検項目 補足	経年劣化進行に伴い予想される 具体的な事象(危険情報等)
① カウンター	ひび割れや欠けがある	キャビネット内部への水侵入による木部の膨れ 変形破損部への接触によるけが
② 洗面ボウル	ひび割れや欠けがある	キャビネット内部への水侵入による木部の膨れ 変形破損部への接触によるけが
③ キャビネット	引き出しのがたつきがある	引き出しの脱落などによるけが
	手のひらアイコン 引き出しの調整 P14	
	引き出しの外れがある	扉の脱落などによるけが
	扉開閉時にがたつきがある	
④ 水栓金具	手のひらアイコン 扉の調整 P12・13	扉の脱落などによるけが
	扉開閉時に外れ・異音がある	
⑤ 排水金具	水栓配管接続部からの水漏れがある キャビネット内よりご確認ください	異臭や水漏れ、キャビネット内の膨れ
	排水金具接続部からの水漏れがある キャビネット内よりご確認ください	異臭や水漏れ、キャビネット内の膨れ
	排水金具に損傷がある	異臭や水漏れ、床の腐敗

*水栓金具の逆止弁は定期的に交換してください。詳しくは水栓金具の説明書を参照ください。

修理を依頼される前に

こんなとき	処置の仕方	
水が出ない 湯が出ない	止水栓を開けてください。 断水していないことを確認してください。	 ご使用前の確認 P6
水が漏れている	給水・給湯管の場合 排水管・トラップ部分の場合	止水栓を閉めてください。 パッキン、防臭栓のずれを直してください。 ナットを締め直してください。
水が止まらない		上記の処置をしても水が止まらない場合は、 止水栓を閉めて修理を依頼してください。
排水の流れが悪い		ヘアキャッチャーのお手入れをしてください。 排水の詰まりを確認してください。
扉や取っ手・引き出しにがたつきがある		固定ねじを締め付けてください。
扉や引き出しの前板がずれている		ずれを調整してください。
水はねが多い		止水栓を調整してください。
水栓金具について		 専用説明書を参照ください。

アフターサービス

※この説明書の巻末が保証書になっています。

保証書

ご確認ください！

- 保証書の内容に従って保証されています。
お引き渡し日・販売店・取付店が記入、
押印してあることをご確認ください。
また、保証書の内容をよくお読みのうえ、
大切に保管してください。
- 保証期間は保証書をご確認ください。

保証について

- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよく
ご確認ください。
- ※無料修理により交換された交換前の部品・商品はTOTO(株)の所有となります。

保証期間を過ぎた場合は？

- 修理すれば使用できる商品についてはご希望により有料で修理させて
いただきます。

補修用性能部品の供給期間

部品の供給期間は？

- 補修用性能部品(注1)の供給期間は製造中止後10年です。 (注1)パッキンなどの機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替え
の必要が発生する可能性の大きいもの

※水栓金具・電気温水器など  専用説明書を参照ください。

※扉・引き出しの面材については、製造中止後、2年の供給期間としております。供給期間経過後は、新シリーズの扉にて供給
させていただきますので、ご了承ください。

※商品のモデルチェンジなどにより、予告なく商品を製造中止とする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(P19)をご確認ください

修理・取り扱いのご相談は まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店

〒

電話

—

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記TOTO窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口



商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010

FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間：9:00～17:00（夏期休暇・年末年始を除く）



修理のご用命は

安心・信頼の
TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ

ホームページ <http://www.tom-net.jp/>

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

受付：年中無休

受付時間：8:00～19:00

訪問修理：年中無休（一部地域を除く）

営業時間：9:00～18:00



交換部品・別売品の
ご購入は

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ

TEL ☎ 0120-8282-55

FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 10:00～18:00

（夏期休暇・年末年始を除く）

※インターネットでの部品購入はTOTOWebショップへ(24時間受付)

<http://www.toto.jp/ec/html/index.htm>

お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。

詳細はTOTOホームページをご覧ください。

TOTO株式会社

TOTOホームページ <http://www.toto.co.jp/>